



〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100

議会だより

第62号

平成29年7月発行

編集：議会広報委員会

発行：大和村議会

☎ 0997-57-2216(直)

FAX 0997-57-2967



奄美すもも出発式（平成29年6月8日）

主な内容

一般質問（5人）	2～7
平成29年度 当初予算可決	8
平成29年度 当初予算の主な事業費（一般・特別）	9
平成29年度 予算審議委員長報告	9～11
平成29年度 予算審議意見書	12
第1回定例会	13～15
議会の動き・表彰・編集後記	16

第1回 定例会 一般質問(5人)

平成29年第1回定例会(3月)において、5名の議員が一般質問を行い、志戸勘地区での採石場計画、奄美群島の世界自然遺産に向けた大和村の取り組み状況、子育て支援、ふるさと納税、大和村が設立する合同会社の具体的な取り組みなどについての行政施策をたしました。質問及び答弁要旨については次のとおりです。なお、質問者が皆様にお伝えしたい内容を前面に出せる表記を行うために、編集のあり方は各議員の裁量としております。(3月15日 本会議)

情報通信「光ファイバー」回線網設置について

人口減少の歯止めにも高速通信システム「光ファイバー回線」の早期普及が不可欠と考える。人口増加のためにも「光ファイバー回線」の早期運用が望まれるが、本年の取り組み状況と、他市町村との取り組みがどのようなものになっているのか。また、全集落が普及の対象となっているのか。



奥田 忠 廣 議員

(答弁) 光ファイバー回線網の設置については、「光ブロードバンド情報基盤整備事業」において平成29年度から平成30年度の二カ年間の整備計画で行っていく。全集落世帯が対象となっており、初年度は国直から嶺山まで、2年目は嶺山から今里までを計画している。他市町村との共同取り組みとしては、奄美市・宇検村・大和村3市村で割り振りをを行い、負担金を抑えて整備することが可

能になる。光ケーブル整備により、世界自然遺産登録後の観光客増加に幅広く活用していきたい。

志戸勘地区での採石場計画について

志戸勘地区での採石場計画は、入会権や山林立木売却など、法的に瑕疵はないのか。

(答弁) 現在周知していることは、事業主が、今里集落と志戸勘集落で集落説明会を行い、同意を得たということだけで、詳細な説明内容や決議内容等については把握していない。民間事業者が行ったことについての法的瑕疵については申し上げることができない。

本村で行われる採石場計画は、郡民総意の奄美群島国立公園指定や世界自然遺産登録申請と矛盾しないか。

(答弁) 奄美群島国立公園指定や世界自然遺産登録について、保存や活用も含め、各関係機関と情報交換を行い、議会や村民のみなさまに示し、透明化を図っていきたい。

採石稼働により、志戸勘海浜の汚染は免れないと思うが、海浜汚染への影響はどう担保するのか。

(答弁) 海浜への影響については、民間業者が行うので、答弁する立場にはない。しかし、採石時に赤土等の問題も出てく

るので、村として出来ることを県など関係機関と協議しながら、議会のみなさんにも情報提供を行っていききたい。

村所有の入会山林の岩石を売却するのか。また、旧慣使用に伴い議会の議決の判断に委ね

る考えなのか。

（答弁） 現段階では、今後どのような検討が必要なのか、法的な面はどのようなになっているのか、入会権や旧慣使用権変更の問題などと併せ、集落の意向も勘案しながら色々な角度から検討していきたい。



採石場計画予定地（志戸勘地区）

奄美群島の世界自然遺産登録に向けた大和村の取り組み状況について

世界自然遺産について、児童・生徒から、高齢者の方々まで喜んでもらえる周知方法を考えているのか。

（答弁） 国立公園指定まで十数年かかったので、村民の関心も薄らいでいたので、周知や広報活動と併せ、村民が自ら意識

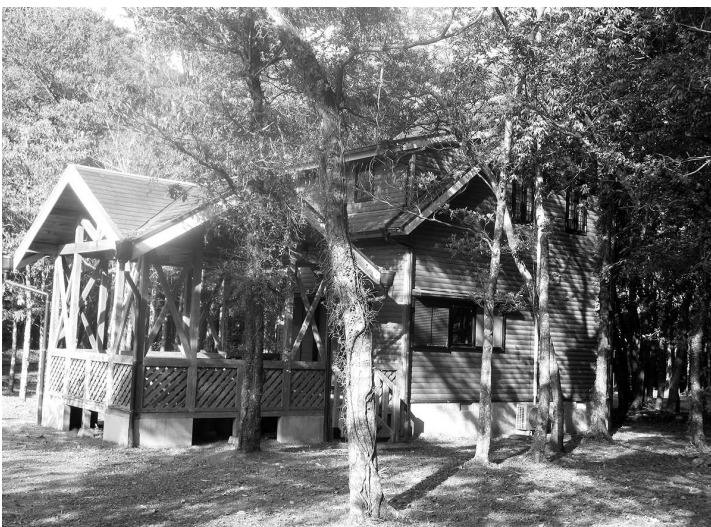
を持つていただくために、村民一斉のクリーン作戦を行い、自然保護への意識啓発にも取り組んでいきたい。



前田清和 議員

世界自然遺産登録後、島外観光客等の受入体制について、奄美フォレストポリスなど、宿泊施設のPRなどを徹底させる必要があると思うが、どのように考えているのか。

（答弁） 現在村内には、民宿が4件とキャンプ場



世界自然遺産登録（奄美フォレストポリス）

が1件あり、収容人数は約90名となっている。今後、限られた宿泊施設を有効活用できるように、各広報誌やSNS、奄美FM等のPRと併せて、民宿経営者や指定管理者と協議し、受入体制づくりに取り組んでいきたい。

世界自然遺産登録に向けて、貴重な植物を捕食する野生化したヤギや、野良猫の対策について、どのような対策や取り組みを行っているのか。

(答弁) 野ヤギについては、大島本島内の市町村が連携して一斉に実施することにより、駆除の効率化を図っていききたいと考えている。野良猫については、大和村猫対策事業により、飼い猫の避妊

手術の全額補助を行っている。今後この事業制度の周知については、事務嘱託員を通じて飼い主への説明も行っていきたい。

大和村の山林は、ほとんどが民有地が集落の入会地になっている。集落民の高齢化などで入会地の所在の把握が困難となっている現在、各集落で入会権の利用計画がないと思われるので、旧慣使用権を廃止したらどうか。

(答弁) 入会権のある山林については、手続き等で事業実施等に影響を来している。今後、村としても、各集落からの申し出により同意が得られれば、入会権の廃止等について検討していきたい。

子育て支援 (0才児〜1才児) について

平成29年度から0才児から1才児保育について行つたのことが、その人数と保育士の人数。また、場所はどこにするのか。

(答弁) 村内には0才児が8名、1才児が9名いる。保育士については、4名体制を計画していて、延長保育も考えている。



民 文 忠 議員

保育所の場所としては、村で購入した大金久の民

家を活用する。

住宅リフォーム (空き家改修)につ いて

住宅のリフォームについて、平成29年度から村内に住んでいる方にも助成があるとのことだが、現在住んでいる



まほろば保育所

家や本村に引っ越しをする人、借り家にも住宅リフォームの助成が適用になるのか。

(答弁) 現在住んでいる家も今回から助成の対象になる。また、引っ越ししてきた方については、従来どおり助成の対象となる。借り家については、助成の対象は所有者となるので、所有者の承諾があれば改修を行い助成の対象にもなる。

ふるさと納税について

一点目は、我が大和村が発信しているふるさと納税の目的と二点目に、ふるさと納税の活用方策について、また、三点目として、平成29年度からふるさと納税サイトの活用などを行っているが、課題等はないか。

(答弁) 一点目の最大の目的は、産業の活性化を



池田 幸一 議員

含む大和村のPRや自主財源の確保である。二点目の活用方策は、寄附者の方々へ福祉の向上や教育や産業の振興、定住促進や一般事業の五つの事業から選んでいただき、ふるさと応援基金に積んでいる。三点目の課題等としては、寄附者へ返礼できる品の確保が最も重要な課題であり、また、寄附者が選べる返礼品の種類を増やしていけるように検討を進めている。

ふるさと納税が発足してから、県内外からふるさと納税を行っている方々の延べ人数はどれくらいいるか。

(答弁) 平成20年度からふるさと納税が始まり、平成28年1月現在で寄附者の総件数は236件である。



ふるさと納税 (大和村まほろば館)



蔵 正 議員

大和村が設立する 合同会社の具体的 な取り組みについ て

合同会社の設立時期や
人員体制、本拠地の場
所はどうなるのか。

（答弁） 設立時期は4月
当初に法人登記を予定し
ている。人員体制につい
ては、地域おこし協力隊
の3名を中心に役場関係
課と連携を図りながら業
務遂行を行う。また、本

拠地としては、当面仮事
務所として大和村体育館
事務室を予定している。

取り組む事業内容と年
次計画はどうなってい
るのか。

（答弁） 法人の企業理念
として単に営利団体では
なく、地方創生の基本方
針である人口減少対策を
見据えたまち・ひと・し
ごとの好循環を創出する
ため、人づくり、地域づ
くり、仕事づくりのテー

マに即した業務展開する
ことである。具体的な年
次計画は、地方創生加速
化交付金を活用し、法人
の設立可能性調査事業を
実施している。また、そ
の調査結果を基に実務を
担う協力隊員を交え、協
議しながら計画策定をし
ていきたい。

合同会社が事業利益を
得るまでの出資計画は
どのようになっている
のか。

（答弁） 出資金としては、
法人設立時に必要な30
0万円を予定している。
また、平成29年度は、耕
作放棄地活用に関する業
務経費や事務的経費も計
上している。次年度以降
については、協力隊員も
交え業務計画の策定を行っ
ていく。

まほろば館との連携に
ついて、現場の運営責
任者として、館長や主
任の配置をとるべきで
はないか。

（答弁） 将来的には合同
会社がまほろば館の運営
を行うよう指定管理委託
も含めた構想もある。そ

のためにも合同会社スタッ
フの地域おこし協力隊に
は、まほろば館の業務運
営にも積極的に関わるよ
う指導するが、まずは大
和村の実状から理解して
もらい、時期をみて、館
長や主任配置等の人員配
置や運営について考えて
いく。



合同会社ひらとみ事務所（大和村体育館）

シルバー人材センター
的機能をもたせた雇
用の創出、移住・定住促
進・観光振興、情報発
信等、幅広い目的をもつ
た組織とするところ
が、どのような機能なのか。

(答弁) 本村の65歳以上の高
齢化率は38・9%と非常に高
く、本村で最も人材が充実して
いる世代で、人材の宝庫である
高齢者がその知見を発揮でき
る場としてシルバー人材的機能
を合同会社にもたせ、社会貢
献の場を提供することで、や
りがいい・生き甲斐の創出が図
られるなどの期待ができると考
えている。

観光振興との連携について

(答弁) 観光振興とは、観光農
園整備後における、収穫ツアー
などを考えて

いる。また、観光客増加による
観光振興策については、別途
観光拠点施設を立ち上げ、エ
コツアーガイドや通訳案内士
などを含め、民間の意見も取
り入れ、本村独自の観光案内
に努め、まほろば館と並行し
て行っていく。

水産業振興について

水産業振興について、魚礁設
置や、水産加工施設設置、水
産加工販売所を含め、村内で
6次産業化にチャレンジでき
るようなステージを常設してお
くべきではないか。

(答弁) 平成29年度に新たに浮
き魚礁設置事業により新たに
魚礁の確保に努める。また、
水産業の活性化には、加工品
の開発は重要で、加工場

としては現在大棚にある旧加
工施設を利用し、施設の管理
や改善について検討をしてい
く。販売所についても、まほ
ろば館と並行して、農林水産
物を含めた形の販売所の設
置を考えている。水産業振興
については、奄美漁協大和支
所やまほろば大和漁業集落と
連携を図りながら進めてい
きたい。

通信カラオケ導入による、集落内交流の活性化について

集落行事の多い本村において、
行事終了後の懇親会やイベン
ト時の交流会において、カラ
オケは必需品である。各集
落に設置してある機材は利便
性や曲数も少なく、使いづら
い状況である。このような

状況の中、各集落に通信カラ
オケを導入し、高齢者やひと
り暮らし世帯の生き甲斐づく
りや介護予防、世代間交流
が図られ、集落民の元気づ
くりの大きき貢献できるの
ではないか。

(答弁) 通信カラオケ導入は、
集落民の交流や活

性化につながるひとつの有
効な手段であると認識してい
る。各集落への通信カラ
オケ導入については、補助
事業等の助成制度があれば、
導入の要望等の調査を行い、
村としても各集落の行事ご
とによる使用頻度なども調
査し、できるだけ、村や集
落の負担が少ない方向で進
めていきたい。

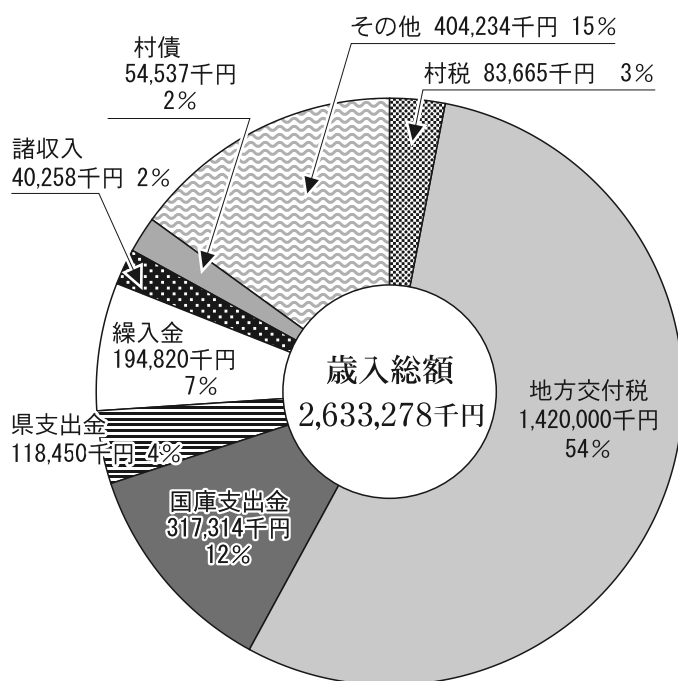


通信カラオケ（大棚公民館）

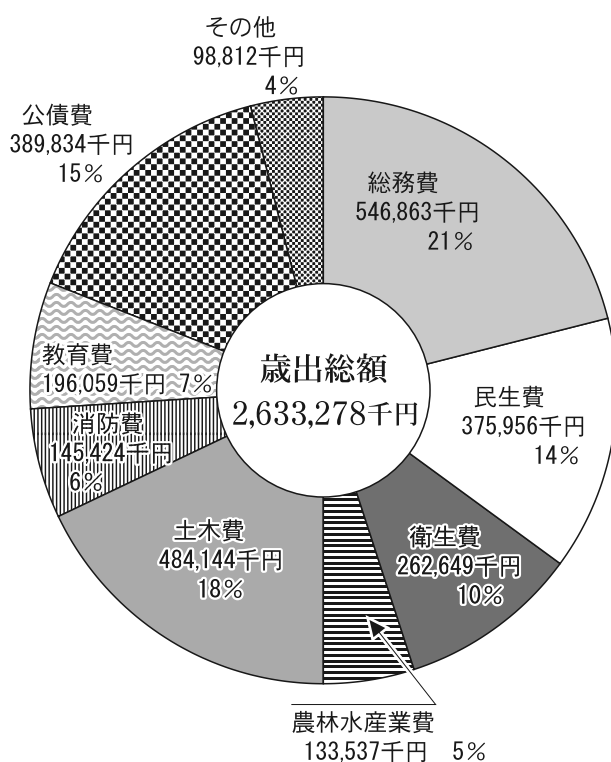
平成29年度当初予算可決

平成29年度の一般会計及び各特別会計予算は、予算審議特別委員会に付託され、最終本会議で予算審議特別委員長報告（9面に掲載）があり、各会計とも原案可決されました。各会計の当初予算状況は次のとおりです。

平成29年度一般会計当初予算 歳入



平成29年度一般会計当初予算 歳出



【平成29年度各会計当初予算状況】

会 計 名	予 算 額	対前年度対比
一 般 会 計	2 6 億 3, 3 2 7 万 8 千 円	1, 4 5 2 万円増
簡 易 水 道 特 別 会 計	7, 1 8 6 万 2 千 円	2 6 0 万 6 千 円減
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	3 億 7 5 8 万 4 千 円	1, 2 5 1 万 3 千 円減
大 和 診 療 所 特 別 会 計	8, 6 0 4 万 8 千 円	1, 9 3 7 万 1 千 円減
介 護 保 険 特 別 会 計	2 億 6, 5 0 4 万 円	6 0 0 万 6 千 円減
大 和 の 園 特 別 会 計	1 億 8, 7 1 8 万 6 千 円	2 4 6 万 9 千 円増
集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	2 億 5, 7 2 0 万 8 千 円	1, 8 8 2 万 9 千 円減
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	2, 9 2 2 万 3 千 円	1 4 万円減

平成29年度 当初予算の主な事業費（一般・特別）

●社会資本整備総合交付金事業費 （大棚名音線改良・橋梁補修事業他）	3億2,031万円
●村営住宅建設事業費（思勝地区 木造1棟）	2,000万円
●大和港海岸長寿命化計画策定事業	1,660万円
●光ブロードバンド整備負担金	9,100万円
●東部地区農業集落排水事業費 （管路布設・処理施設外構工事）	8,150万円
●中部地区農業集落排水事業費 （管路布設・処理施設設計）	8,150万円

平成29年度 予算審議委員長報告

予算審議特別委員長 蔵 正

去る、3月6日の本会議において、本予算審議特別委員会に付託を受けました。

議案第6号

平成29年度大和村一般会計予算について

議案第7号

平成29年度大和村簡易水道事業特別会計予算について

議案第8号

平成29年度大和村国民健康保険特別会計予算について

議案第9号

平成29年度大和村大和診療所特別会計予算について

議案第10号

平成29年度大和村介護保険特別会計予算について

議案第11号

平成29年度大和村集落排水事業特別会計予算

について
議案第12号

平成29年度大和村大和の園特別会計予算について

議案第13号

平成29年度大和村後期高齢者医療特別会計予算について

以上、8件の当初予算議案について、審議内容と結果について報告いたします。

本村の平成29年度予算

編成については、村長の

施政方針にもあるように、

1、「行財政改革の推進

による健全財政の確立」

2、「観光振興を図るた

めの施設整備と受け入れ

体制の充実」

3、「農林水産業の振興

による雇用創出並びに

特産品開発の推進」

4、「子育て支援の拡充

と教育環境の充実」

5、「道路交通網・情報通信網・生活環境の整備促進」

6、「高齢者福祉の充実による安全・安心な村づくり」

7、「定住促進の充実・強化による人口減少対策」の7項目の基本方針

針が示され、総合戦略実践の年にふさわしく、各分野において新規の取組が企画されています。

本委員会は、3月13日午前中に主な事業の現地調査を行い、今里漁港用地舗装工事業、名音小

特別校舎解体事業、大金久小規模保育事業、まほ

ろば館におけるお菓子の

「やまとや」並びに公有

財産購入予定地の説明を

受け、3月16日と17日の

二日間において村長、副

村長、教育長及び関係職

員の出席を求め、一般会

計及び各特別会計予算案

の審議を行いました。

一般会計予算の審議は、16日午後から17日の午前

中にかけて行われました。
一般会計予算の審議は、人口減少対策を中心に、村長の施政方針にある7項目の基本方針について質疑がされました。審議の詳細について申し上げます。

最初に、29年度から新規に取り組む、ネット塾の運営の詳細についての質問があり、保護者との協議の元で運営体制を構築し、連休明けて5月末から6月上旬の開設になるとの答弁がありました。



現地調査（名音小特別校舎解体事業）

転出抑制への新しい手立てについては、早ければ6月議会に提案したいとの答弁がありました。
消防操法大会に伴う今里漁港用地舗装整備については、当初予算より大幅な減額が見込まれるとの答弁でした。今後舗装後の活用方法や大会会場での再検討についての要望がありました。
地籍調査費の1600万円の減額については、職員1名並びに作業員の賃金の減額であり、実質昨年と比較すると調査規模が縮小されることになるとのことでした。

奨学金について、長島町のブリ奨学金を例にした、帰郷し就業する者への免除制度についての質疑があり、現在制度設計中との答弁がありました。また現状の月額3万円からの増額及び特別な事情による予備校への対応についての質疑に対しては、詳細について調査し検討を進めるとの答弁がありました。



現地調査（大和まほろば館）

ました。
水産振興助成金について、浮き魚礁設置の予算が計上されていないとの質疑に対し、県からの認定が予算編成時点で間に合わず、補正予算で対応するとの答弁がありました。

あり、該当する住宅については、本来の教員住宅としての機能と新規採用職員用と併せて検討しているとの答弁がありました。委員からは地元に戻りたいと願う人を優先させてほしいとの意見がありました。

以上、一般会計予算の質疑は、16日午前17日の午前中で終了し、その後、討論・採決を行いました。討論はなく、全



現地調査（まほろば保育所）

会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

引き続き、各特別会計予算についての審議を一括で行いました。

「簡易水道事業特別会計」において、大和ダムの水質は未だマンガンの含有率が安定せず、飲料水に使用できない状況が続いており、見通しは立っていないとのことでした。また、ダムの水を利用し

た再生エネルギーへの活用はできないかとの質疑があり、現状の水量では厳しいとの評価を得ているが、水力発電協議会と再度協議するとの答弁がありました。

「大和診療所特別会計」において、小児科診療報酬について質疑があり、毎週水曜日の午後は小川医師が研修のため不在となるため、その間を小児科医療に実績のある小川

医師のご婦人で小川結実氏が対応するとの説明がありました。

「介護保険特別会計」において、居宅介護住宅改修費の負担金について以前から要望があった、利用者が当初から1割の負担金支出ですむような方策はとれないかとの質疑に、29年度から施行できるように準備中との答弁がありました。

「集落排水事業特別会計」においては、事業終了後の加入率向上に向けて、個人負担に関わる事業見積もりがスムーズに行われるように、業者の斡旋等ができないかとの質疑があり、集落説明会でメートル単価等の費用の概算については説明しているとの答弁がありました。

「後期高齢者医療特別会計」において、緊急ベールの啓発活動強化について質疑があり、ラジオを利用した啓発も始めているとの答弁がありました。

以上、各特別会計予算の質疑は17日午後2時25分に終了し、その後一括して討論を行い、各会計ごとに採決を行いました。その結果、どの特別会計においても討論はなく、採決の結果、全特別会計ともに、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

和村一般会計予算を含む、8件の予算については、原案のとおり可決すべきもので、報告いたします。最後に、当委員会では、委員長の報告と併せまして、議会の意見を別紙のとおり取りまとめ、取り上げて頂くよう申し上げまして平成29年度予算審議特別委員会の委員長報告を終わります。



予算審議特別委員会

平成29年度予算審議意見書

1. 子育て支援・教育振興について

実施されている奨学資金制度（振興基金条例）の貸付金額の拡充（第18条）を図っていただきたい。また、奨学生の人員（第17条）に難関な大学や学部を目指す者への予備校奨学生を新たに加えていただきたい。

2. 住宅確保について

村内集落へアイターン・ユーターンなど移住希望者があるが、希望する集落に住宅が無い場合移住をあきらめるといった事例が発生しているため、集落囑託員などとおして各集落の住宅需要の調査を行い、早急に住宅の確保を図っていただきたい。また、公営住宅においては入居者の収入などにより家賃が算定されるため、かなり高額な家賃となる世帯が複数存在するが、転出抑制策として独自の家賃助成制度の導入を図っていただきたい。

3. 六次産業化の推進について

村の食材を使用したお菓子づくりを行っている「お菓子のやまとや」の商品はおやつやおみやげとして好評を博しており、今後、展開していく上で、調理用器具の整備やパッケージへの助成、先進地への研修調査、調理講師の招へい等を望んでいるが、更に連携を深め、支援策を図っていただきたい。

4. 公園整備について

集落に整備されている東家の屋根や椅子等が老朽化により損壊しているが、集落民の憩いの場であり、観光振興にもつながる施設であるため、調査を行い、早急な修繕対策を図っていただきたい。

5. 水産振興について

マグロ類が滞留する浮漁礁の流出により漁業者が安定的に漁獲を得ることができない漁場環境が損なわれているため、早急にマグロ類が滞留することのできる浮漁礁の設置を図っていただきたい。また、浮漁礁の流出が頻繁に発生していることから、定期的な設置を図っていただきたい。

簡易水道事業特別会計

1. 大和ダムの活用について

国は再生可能エネルギーの導入を推進し、県においては「小水力利用促進協議会」が設立され、小水力を利用した小規模発電事業を推進しているが、大和ダムの放出水を活用した小水力発電所の整備へ向け、調査検討を実施していただきたい。

第1回定例会

平成29年第1回(3月)定例会が3月6日～22日(17日間)まで開かれ、平成28年度補正予算をはじめ、条例改正や制定及び、平成29年度当初予算などが審議されました。

なお、可決された議案(全議案可決)は、次のとおりです。

予算

●平成28年度 一般会計補正予算(第4号補正)

補正額

5208万2千円増額

予算総額

29億2876万8千円

(補正内容) 歳入においては、奄美群島成長戦略交付金や財政調整基金繰入金が増額されました。歳出においては、人事交流負担金、防災関連施設整備事業費また、集落外灯のLED化に伴う助成金等を増額計上しました。主な補正は次の通りとなっています。

(歳入)

○国庫負担金

386万1千円増

○県補助金

3146万4千円増

○基金繰入金

400万円増

(歳出)

○総務管理費(人事交流・新築住宅助成金等)

1630万5千円増

○社会福祉費(障害者自立支援事業費)

1143万2千円増

○消防費(防災関連施設整備事業費)

5800万円増

●平成28年度 国民健康保険特別会計補正予算(第4号補正)

補正額

244万円 減額

予算総額

3億2239万4千円

(補正内容) 歳入においては、財政調整交付金の減額や一般会計繰入金を増額を行い、歳出においては、高額療養費の増額、大和診療所への繰出金を減額しました。

(歳入)

○国庫補助金(特別調整交付金)

800万減

○繰入金

556万円増

(歳出)

○一般被保険者高額療養費

550万円増

○繰出金(国保診療所)

800万円減

●平成28年度 大和診療所特別会計補正予算(第3号補正)

補正額

169万1千円 増額

予算総額

9467万円

(補正内容) 歳入においては、診療収入の増額、繰入金の減額などを行い、歳出においては、一般管理費の歯科医師報償費や医業費検査手数料が増額されました。主な補正は次の通りとなっています。

(歳入)

○外来収入

1165万円増

○一般会計繰入金

196万減

○他会計繰入金

800万円減

(歳出)

○施設管理費

129万円増

○医業費

40万円増

●平成28年度 介護保険特別会計補正予算(第3号補正)

補正額

100万円 減額

予算総額

2億8427万2千円

(補正内容) 歳入においては、介護給付費負担金等が増額され、歳出においては、居宅介護サービス給付費が減額される一方、施設介護サービス給付費が増額されました。主な補正は次の通りとなっています。

(歳入)

○国庫補助金(調整交付金)

12万5千円減

○支払基金交付金

28万円減

(歳出)

○居宅介護サービス給付費

300万円増

○施設介護サービス給付費

400万円減

●平成28年度 集落排水事業特別会計補正予算(第3号補正)

(補正内容) 農業集落排水事業費中部地区を平成28年度から平成29年度へ繰越ししようとするものです。

繰越明許費
200万円増

条例

●大和村定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、思勝地区に定住促進住宅建設に伴い、新たに定住促進住宅の名称及び位置等を設定する事と、今回新築された独身、単身者向け住宅の入居条件を定めたための改正です。

●大和村保育の必要性の認定に関する条例の制定

(改正内容)

この条例は、平成29年4月1日から小規模保育事業を実施するにあたり、子ども・子育て支援法に基づき、認定基準を定める必要となった事により制定するものです。

●大和村職員の給与に関する条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、職員の時間外勤務手当の算出方法について、現在の国家公務員法から労働基準法に準拠した算出方法に改正するものです。

●大和村情報公開条例の一部改正

(制定内容)

この条例は、行政機関の保有する個人情報保護に関する法律の一部が改正され、個人に対する情報の定義について、文言等の整備を行う必要が生じたため改正するものです。

●大和村個人情報保護条例の一部改正

(制定内容)

この条例は、情報提供ネットワークシステムを使用した情報連携に関する規定や個人情報情報の、定義の明確化などの改正を行いました。

●大和村行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

(制定内容)

この条例は、情報提供ネットワークシステムを使用した情報連携に関する規定が整備されることにより改正が必要となりました。

●大和村地域活性化定住促進条例の一部改正

(制定内容)

この条例は、定住の促進を図るための助成措置を講じ、村の活性化と住民の福祉向上に寄与する目的で制定され、平成29年度から保育料助成金、就学援助費、島内専門学校通学助成新たに施策実施するための改正です。

●大和村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準定める条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、通所介護事業所の内、小規模事業所について、生活圏域に密着したサービスであることを踏まえ、人員、設備、運営基準等について県指定であったものを、市町村が指定するための改正です。

●大和村指定地域密着型介護サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準定める条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、介護保険法の改正により、地域密着型介護予防サービス運営基準が編異なり、認知症対応型通所介護予防サ

ビスについて運営基準等を整備する必要が生じたための改正です。

●大和村飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例の一部改正

(制定内容)

この条例は、世界自然遺産登録に向けた奄美大島5市町村同時に改正するもので、努力義務を義務化にする事や、放し飼いの制限、餌やりの禁止などを新たに追加したものです。

●大和村小規模保育事業所条例の制定

(改正内容)

この条例は、平成29年4月1日から小規模保育事業を実施するにあたり、小規模保育事業所の設置に関する条例を定めるもので、名称大和村立まほろば保育所、場所大和村大金久72番地です。

●大和村いじめ問題調査委員会設置条例制定

(改正内容)

この条例は、いじめ防止対策推進法において、いじめにより、生命、心身または財産に重大な被害を生じた疑いがあると認めたときに、事実関係を明確にする調査を行うものです。委員は5人以下で組織します。

●大和村企業誘致立地等促進条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、企業立地時における企業の負担軽減を図ることで、企業誘致の推進、定住促進、雇用喪失を図るためです。助成額について、企業立地に要した経費の3割を削除し、限度額以内であれば、企業の負担をなくすことや、場所が村有地であれば無償貸与することなどを改正しました。

その他の他

●旧慣による公有財産の使用の変更について

(内容)

九州防衛局熊本防衛支局が南西諸島の防衛重要性に鑑み、名音地内に無線通信施設を整備することになり、公有財産の使用の変更を求めるものです。

●大島農業共済事務組合規約の一部を改正する規約について

(内容)

瀬戸内町嘱託獣医の定年退職に伴い、新たに瀬戸内町が家畜診療所へ加入することになり、支弁方法の変更が生じたため改正するものです。

契約

●平成28年度施行大和診療所医療施設等設備整備事業消化器内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒器購入物品売買契約の締結

(内容)

- 消化器内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒器
- 契約金額
1107万円
- 契約相手方

住所

鹿児島市西別府町
2941番地27

氏名

株式会社 横尾器機
代表取締役社長
川越 秀彦

議会を傍聴しましょう

議会の定例会は年4回(3月、6月、9月、12月)

行われます。 お問い合わせ先 ☎57-2216 (直通)

議会の動き

大和村成人式（防災センター・議員）
公明党ティダ委員会・新春政経懇話会（奄美市・議長）
大和村消防出初め式（大和校・議員）
大島本島南部議会連絡会（宇検村・議長・副議長）
正副議長研修会（奄美市・議長・副議長）
新人議員研修会（奄美市・議員）
大和村PTA研究大会（防災センター・議長）
議員研修会（鹿児島市・議員）

奄美地区郵便局長通常総会・懇親会（奄美市・議長）
第35回南部町村議会議員大会（宇検村・議員）
第16回大島地区生涯学習大会（瀬戸内町・議長）
県町村議会議長会定期総会（鹿児島市・議長）
県離島離島振興町村議会議長会定期総会（鹿児島市・議長）
県町村監査委員協議会定期総会等（鹿児島市・議選監査委員）
公民館講座閉講式（防災センター・議長）
議会運営委員会（議員控室・運営委員）
大島地区衛生組合議会定例会（奄美市・奥田議員）
大島地区消防組合議会定例会（奄美市・前田議員）
大島地区介護保険一部事務組合定例会（奄美市・重信議員）
大島農業共済事務組合定例会（奄美市・蔵議員）
市町村議会議長会（奄美市・議長）
市町村長・議会議長合同会（奄美市・議長）
奄美群島広域事務組合議会定例会（奄美市・議長）

大和村議会第1回定例会開会
予算審議特別委員会現地調査
大和中学校卒業式（議員）
定例会（一般質問 4名）
予算審議特別委員会（一般会計）
予算審議特別委員会（一般会計・特別会計）
定例会最終本会議
村内小学校卒業式（議員）
関西（奄美路線新規就航歓迎レセプション）（奄美市・議長）

宮田 到 議長	鹿児島県町村議会議長会表彰 (町村議会正副議長10年在職)
民 文忠 副議長	全国町村議会議長会表彰 (町村議会議員15年在職)
表 彰 (写真左側から順に記載)	



編集後記

村民の皆さんこんにちは。
今年のタンカンは大豊作でしたが、大和村が誇るスモモが不作で農業の難しさを感じている所です。新年度予算においても有機質堆肥や肥料及び苗木の購入助成を行います。以前の収穫量に近づけたらと思います。漁業者への漁具購入費に対する新たな助成も始まります。また、以前から要望していました0歳児保育が4月から大金久で始まりました。若い共働きの夫婦には大変喜ばしい事です。諸問題を一つ一つ当局と切磋琢磨しながら、解決できたらと願っています。梅雨も明けましたが、これから台風の季節を迎えます。毎年のことと思わず、日頃から災害に備えていきましよう。

広報委員長 民 文忠
広報委員 蔵 正
〃 宮田 到
〃 池田 幸一